

私たちは長野県松本市にある市民放射能測定室の信大・理学部の学生を中心メンバーとするオペレーター・チームです。食品の放射能濃度を測定する事を中心に、内部被爆からの防護の様々な活動を行っています。

## 1. 「Teamめとば」の設立経緯

JCF(日本チェルノブイリ連帯基金)が放射能測定機を購入

測定機のオペレーターを募集

三輪浩・信大名誉教授によってオペレーターのメンバー集結

2012.2 Teamめとば結成



Teamめとばと三輪浩先生

Teamめとばの活動

## 2. 測定の様子

日立アロカメディカル株式会社

型名: CAN-OSP-NAI  
検出器: φ2×2 インチ NaI(Tl) シンチレーション検出器  
測定試料: 牛乳、水、野菜、土壌、魚介類、肉類  
質量: 1661g  
(PC、検出器、プリンタ除く)



測定機

マリネリ容器



検出限界  
15分: 25Bq/kg

V11容器



検出限界  
60分: 25Bq/kg

容器に試料を詰める



試料の重量を測定



測定機に容器を入れる

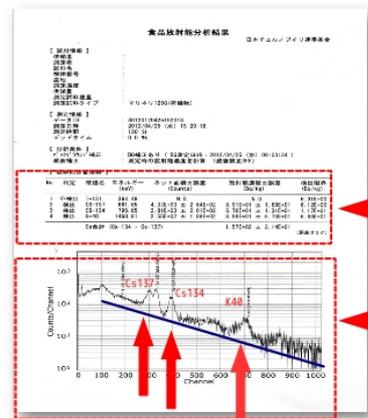


測定条件を入力



Teamめとばの活動

## 3. 測定結果



Teamめとばの活動



測定結果を依頼者様に説明する

○ 放射能測定結果を表示

[国の基準(2012年4月試行)]  
・一般食品 : 100 Bq/kg  
・牛乳・乳児食品 : 50 Bq/kg  
・飲料水 : 10 Bq/kg

○ エネルギースペクトル図を表示

青線からとび出ている山(矢印)に注目し、その大きさを各核種(Cs,K)の濃度を計算しています。

## 4. 給食プロジェクト

目的: 子どもを内部被爆から守る!

[給食が出来るまで]

<主な活動内容>



市役所 卸市場 給食センター 学校

松本市の学校給食課などの関係各機関と連携して、学校給食に使われる食材の一部を選別してJCFが購入します。

その食材をTeamめとばが給食の提供をされる前日に放射能濃度の事前測定を行います。**濃度が高い食材に関しては給食センター関係者に連絡、給食として提供されるのを止めてもらいます。**

Teamめとばの活動

## 5. 出前授業プロジェクト

目的: 放射能に関わる知識を共有

<主な活動内容>



飯田高校での出前授業の様子

小中高の学校や市民の方からの依頼を受け、各学校や依頼先からの要望にあわせて放射能に関する知識・考え方を中心に出張講義をするプロジェクトです。

非専門家の測定機オペレーターでも伝えられる事があると思います。

**この機会に放射能に関して疑問や悩み一緒に考えてみませんか?**

Teamめとばの活動

## 6. 他の測定室との連携

- 長野地域の市民測定所連携(約5団体)
- 高木基金の市民測定所連携(約20団体)
- 全国の市民測定所連携(約80団体)

他の測定室との連携、情報交換、クロスチェックが可能となる。それに伴い、当測定室でも以下のような自主的な測定調査を試みる。

目的: 測定スキルの上向

1. 長野県の地域で生産された食材
2. 濃度が高いと予測される試料  
→(流通食品、野生食材、汚染土壌)
3. 状態により濃度が異なる試料  
・水分含有量の違いの濃度比較実験  
・タケノコの局所的な部分測定実験



高木基金の集まり



長野地域の集まり

Teamめとばの活動

認定NPO法人「日本チェルノブイリ連帯基金(JCF)」〒390-0303 長野県松本市浅間温泉2-12-12 電話:0263-46-4218 FAX:0263-46-6229  
ご意見・お問い合わせこちらよりお願い致します。また、食品の測定の申し込み方法は以下よりお願い致します。

1. 予約 : 事前にJCF事務局まで要予約でお願いします。
2. 持ち込み : 対象試料○食品(自家栽培作物・流通食品)○飲料水(水道水・井戸水)●土壌(要相談)
3. お支払い : 検査費用(1検体当たり)・一般: 2,000円 (JCF会員特典あり)・法人: 5,000円(要相談)
4. 測定 : 原則的に①測定結果は公表します ②試料は返却出来ません。

